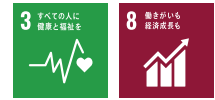




ESGの重要テーマ

労働安全衛生マネジメント



積水ハウスグループでは、従業員ならびに委託業者などの安全・健康を第一に考え、日々業務を行っています。労働災害が発生した場合、事務・生産・施工の部門ごとに安全衛生委員会で事例を共有し、職場の安全衛生に関するPDCAサイクルを回しています。

休業災害度数率・業務上疾病度数率

2019年度の休業を伴う災害・疾病の度数率は生産部門・施工部門の疾病度数率を除き、前年度と比較して増加しました。要因分析を徹底し、共有化を図ることにより、安全衛生意識の向上、不安全行動の防止、災害や疾病につながる長時間労働の抑止などに取り組みます。

休業災害度数率/業務上疾病度数率 (休業1日以上を集計)

部門	休業災害度数率		業務上疾病度数率		
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	
事務部門(従業員 [※])	0.19	0.42	0.03	0.07	
生産部門	従業員 [※]	0.00	0.45	0.00	0.00
	委託業者	0.00	0.27	0.00	0.00
施工部門(委託業者のみ)	2.42	2.92	0.63	0.43	

※ 積水ハウス単体

特に、施工部門での休業災害増加の一因としては墜転落、切る刺す災害が減少しないことが挙げられます。中でも脚立からの墜転落が4割強となっており、特に不安全行動に起因するものが多いため、作業手順の徹底と不安全行動排除に焦点を当てた教育の推進を図ります。

なお、過去3年間の施工部門における労働災害による委託業者の死者数は2017年度2人、2018年度0人、2019年度0人です。

施工現場での労働安全衛生活動

すべての施工従事者の労働安全衛生の確保は、当社グループの社会的責任であり、重点的に取り組むべき項目の一つと考えています。当社グループでは施工従事者が安全に安心して働くことができるよう活動を進めています。

2019年度 労働災害発生状況

- 熱中症件数は電動ファン付き作業服(空調服)の着用のほか、作業環境を向上させる涼風商品などの推奨に努め、前年度より減少しました。
- 近隣や通行人などの第三者にも影響を及ぼす重機の横転、高所からの部材の落下等が発生しました。それぞれの原因分析と再発防止対策を徹底して継続していきます。

2020年度の取り組み

労働災害の削減に向けて、2020年度「全社施工安全衛生年間計画」の基本方針として「全現場に各種安全施策を定着させる」「公衆災害(物損・人損)を防ぐ」を掲げ、災害防止対策に取り組みます。

その骨子は次の通りです。

- 重大災害(人命にかかわる災害)への対策には一層注力し、死亡災害ゼロを継続します。
- 墜転落、切る刺す災害が繰り返されていることから、安全施策を着実に実践し、定着を見届け、事故を未然に防ぐ体制の確立を目指します。
- 公衆災害の防止については、過去に発生した事故の対策を浸透させ、同種の災害発生を防ぎます。



2020年度 スローガンポスター